

事案調書(戦略会議)

審議日 令和5年10月13日

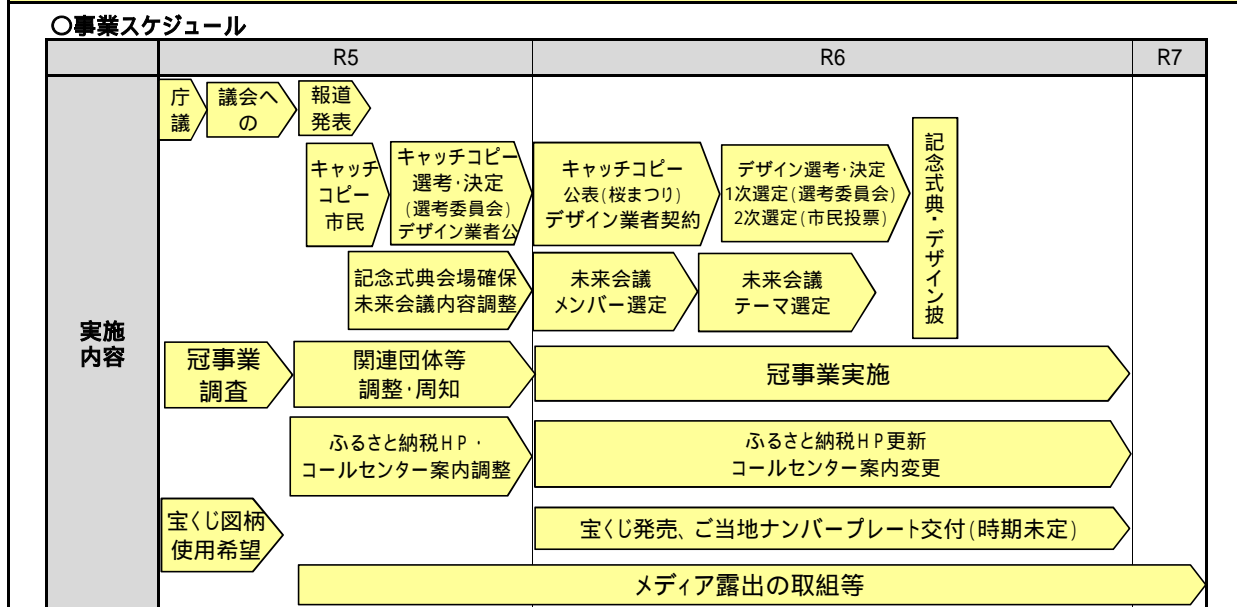
案件名	市制施行70周年記念事業について						
所管	市長公室	局区	部	政策	課	担当者	内線
	市長公室	局区	部	秘書	課	担当者	内線
	市長公室	局区	部	観光・シティプロモーション	課	担当者	内線
	市長公室	局区	部	広聴広報	課	担当者	内線
	市長公室	局区	部	総合メディア戦略推進	課	担当者	内線
事業効果 総合計画との関連	事業効果	・市民のシビックプライドの醸成 ・本市の認知度向上及び転入促進					
	効果測定指標	相模原市の認知度、市民の地域への愛着度			施策番号	47	
		R5	R6	R7			
	事業効果 年度目標						

審議事項 庁議で決定 したいこと及び 想定(希望) している結論	市制施行70周年記念事業の実施について
戦略会議 審議結果 (政策課記入)	○原案を一部修正し、承認する。

事案概要

令和6年11月20日に市制施行70周年を迎えることから、これまで先人たちが築き上げてきたまちづくりを振り返り、節目となる70周年を市民・地域・団体・学校・企業などと共に祝うことでシビックプライドの醸成を図る。
また、市制施行70周年を契機とし、本市の魅力を記念式典などを通じて市内外に効果的に発信することで、認知度向上や関係・交流人口の増加、さらには転入促進に寄与する機会とする。

事業スケジュール / 事業経費・財源 / 必要人工



○事業経費・財源

(千円)

項目	補助率/充当率	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
事業費(総務費)		1,400	28,800					
うち任意分		1,400	28,800					
特財								
国、県支出金								
地方債								
その他								
一般財源		1,400	28,800	0	0	0	0	0
うち任意分		1,400	28,800					
捻出する財源 2								
一般財源拠出見込額		1,400	28,800	0	0	0	0	0
元利償還金(交付税措置分を除く)								
捻出する財源概要								

○必要人工(事業実施に当たり、新たな人員配置を求める場合のみ記入)

(人工)

項目		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
実施に係る人工	A	1	2					
局内で捻出する人工	B							
必要な人工	C=A-B	1	2	0	0	0	0	0

局内で捻出する人工概要

SDGs 関連ゴールに (は3つまで)									
									
		○						○	

日程等 調整事項	条例等の調整	なし	議会提案時期		報道への情報提供	記者会見
	パブリックコメント	なし	時期		議会への情報提供	資料提供 10月下旬から11月上旬

事前調整、検討経過等

調整部局名等	調整内容・結果
秘書課、観光シティプロモーション課、総合メディア戦略推進課、広聴広報課	R5.9.11 公室内打合わせ 市長レクで了を得た内容の共有、各事業の担当を調整
財政課	R5.8.24 宝くじ図柄使用希望提出 単年度要因調査にて調整

備考	
----	--

庁議におけるこれまでの議論

<p>調整会議の 主な議論 (9/28)</p>	<p>【実施方針について】 ○(人事・給与課長)実施方針について、過去・現在・未来とあるが、具体的にそれぞれに対応する事業があるのか。 (政策課担当課長)冠事業の中では、それぞれの趣旨を踏まえて実施いただくことを想定している。資料に具体的に明記している事業では、100周年に向けたキャッチコピーやロゴデザインの作成は未来、記念式典については現在、未来に対応している。</p> <p>【キャッチコピー及びロゴデザインの作成について】 (人事・給与課長)デザインについては業者が作成とあるが、市民は関わらないのか。 (総合メディア戦略推進課長)永く広く使えるというものを作成するため、デザイン性を担保する目的で、制作会社に何案か出していただくが、最後の決定は市民投票を想定している。</p> <p>【記念式典について】 (経営監理課長)式典というと堅いイメージがあり、市民が出席されるイメージがない。桜まつりなどで行う方法もあると思われるがいかかがか。 (政策課担当課長)堅いイメージを持たれるかもしれないが、さがみはら未来会議については、著名人や有識者などをお呼びし、シンポジウム的に実施することで、堅い雰囲気柔らかくし、市民に興味を持っていただけるものにする予定である。 (経営監理課長)75周年や80周年の記念式典は想定しているのか。 (政策課担当課長)現時点では、75周年はないと思うが、80、90周年で実施することはあるかもしれない。</p> <p>【冠事業について】 (財政課長)冠事業とあるが、通常の予算で可能なのか、各事業で単年度要因が出るようなことはあるか。 (政策課担当課長)各冠事業については、基本的に既存の経費の中で対応するものと考えている。 (財政課長)例えば、ツアー・オブ・ジャパンなどでやると相当なPRになると思う。個別でやるより大きな事業を実施する方が、効果があるのではないかと。 (政策課長)ツアー・オブ・ジャパンでいえば、例えばスタートゲートに70周年と入れてもらうなど、もともと作成するものに盛り込むのであれば経費は大きくかからないものと考えている。 (財政課長)どう実施していくかは各所管課判断か。 (政策課担当課長)そのとおりである。</p> <p>【ご当地ナンバープレートについて】 (人事・給与課長)ご当地ナンバープレートは自動車のプレートのことか。 (政策課担当課長)原動機付自転車のプレートである。 (人事・給与課長)どういうイメージのものになるのか。 (観光シティ・プロモーション課長)さがみん、はやぶさ2といったような、ご当地感のある図柄をナンバープレートに入れるイメージである。 (人事・給与課長)ご当地ナンバーという富士山ナンバーなどといった車のイメージが強いため、原動機付自転車のプレートであることが分かる表現に修正するとよい。 (政策課担当課長)承知した。 (人事・給与課長)コールセンターの受付で70周年の案内とはどういうイメージか。 (広報広報課長)最初の受け答えに、市制施行70周年というフレーズを入れるイメージである。</p> <p>【予算について】 (財政課長)令和5年度補正予算の内容と補正の理由について伺いたい。 (政策課担当課長)補正の内容としては、新しいキャッチコピーを作成する際の委員謝礼や商標登録関係の経費、また、冠事業で使用する70周年記念事業の共通デザイン委託料等、130万円程度を予定している。補正の理由としては、今年度実施した世論調査の結果を踏まえ、コピーやロゴを変更することを決めたことや、今年度当初に市長選があったことから、市長の2期目の当選を受け、改めて70周年というものを考えた中で、補正が必要になったものである。 (財政課長)補正の理由付けとしては弱く、難しいと思われる。当初でやれる方法がないか検討いただきたい。 (政策課長)予算編成時期や執行時期については調整したい。</p> <p>原案のとおり上部会議へ付議する。 ただし、庁議の意見を踏まえ、資料を一部修正すること。</p>
---	--

<p>決定会議の 主な議論 (10/4)</p>	<p>【予算について】</p> <p>(財政担当部長)令和5年度の予算について、補正なのか、流用財源を活用するのか。例えば、市長の政策集に掲げるシティプロモーションとして、その政策を実現するために必要な最重要課題としてこのタイミングで補正予算を計上するという整理や、令和6年度からの本格実施に向けて、効果的なPRをするために必要な事務的な準備経費であるということ流用するといった整理が可能かと思う。</p> <p>(SDGs・シビックプライド推進担当部長)この事業を通じてシビックプライドの醸成につなげていくという大きな目的があり、市長の打ち出している方針における最重要課題であると認識している。キャッチコピーの発表のタイミングは桜まつりが最適であり、そのためには令和5年度から一定の経費がかかるため、準備経費として必要なものである。</p> <p>(総合政策・少子化対策担当部長)スケジュールの関係上、速やかに事務執行したいことから、流用財源を活用したいと考えている。</p> <p>(財政局長)50周年の際には何年も前から準備を始めていたような話で、急に1年前に始めるという話がどこまで納得できるものであるか。</p> <p>(総合政策・少子化対策担当部長)現在の潤水都市のキャッチコピー及びロゴデザインについて市民アンケートを実施したところ、認知度が40%満たなかったという結果を受けての動きもある。</p> <p>(財政局長)行財政構造改革プランの中で、潤水フェスタは廃止していくと記載があるが、潤水フェスタは政令指定都市移行を記念して始めたものであり、市制記念日の11月20日近辺で実施していることもあるため、周年記念の時だけはその財源を使い、潤水フェスタに替えて実施するというような整理であれば、納得されるのではないか。</p> <p>(政策課長)70周年で行うシティプロモーションや広報については、既存の予算であり、事前の準備を検討する中で、ここで準備行為として必要な費目が固まったという整理で、予算流用で対応したいと考えている。</p> <p>【各事業について】</p> <p>(財政局長)表彰式と同時開催とするような場合には、秘書課で表彰式を大分縮小している中で、毎年同じような理由で選ばれる対象者に対し、周年事業の時だけ華々しく表彰式されるかたちとなるため、その辺りの整理についての懸念もある。</p> <p>(秘書課課長代理)表彰式と同日開催としているが、あくまで表彰式は記念式典とは別のイベントとして近年の取扱いを基本に開催したいと考えている。</p> <p>(財政担当部長)冠事業は、既存の事業に冠を付けるというイメージか。</p> <p>(総合政策・少子化対策担当部長)そのとおりである。</p> <p>(財政担当部長)その他として様々な事業の記載があるが、これ以外にも今後出てくることはあるか。そうであるならば、既存のシティプロモーションの延長として、70周年の時期に合わせて、シティプロモーションに資する時期に効果的に実施するという方が今後出てくる事業を推進しやすくなるのではないか。</p> <p>(総合政策・少子化対策担当部長)記載方法について検討する。</p> <p>【各種調整について】</p> <p>(総務局長)スケジュールを見ると、10月にキャッチコピーの公募をかけるように見える。事案調査に記者会見とあるが、10月20日の定例記者会見での発表を想定していたのか。その前には議会への資料提供が必要となるし、現状、予算措置も担保されていないという話であるが、どのように考えているのか。</p> <p>(総合メディア戦略推進課長)キャッチコピーの公募は12月1日から1月にかけて予定している。また、12月1日の広報への掲載を予定している。桜まつりでの公表から逆算してのスケジュールとなる。</p> <p>(財政担当部長)その場合、補正のタイミングはないので、流用であれば予算の裏付けは取れる。</p> <p>(市長公室長)募集チラシを作れば当然に70周年の話が外部に出ていくことになるので、何かしらの外向けのアナウンスは必要である。</p> <p>(財政局長)長く使用してきた潤水都市のコピーを変えるという話を広報していくのであれば、議会に諮り補正までしないとしても、もともと決めた先人たちもいる中で、なぜ変えるのかというところの意思決定をしっかりと行っていく必要がある。</p> <p>(総務法制課長)10月後半から11月頭あたりに、議会に対しての説明の場を用意させていただく。</p> <p>○(市長公室長)コピー募集チラシを早期に着手したいとの話であるが、議会への説明、記者向けの発表を終えてからスタートとなる。財政課と予算の裏付けについて、総務法制課、広聴広報課等と外部への発表の方法について調整いただきたい。</p> <p>原案を一部修正し、上部会議に付議する。</p>
---------------------------------------	--

市制施行70周年記念事業について

市長公室 政策課
秘書課
観光・シティプロモーション課
広聴広報課
総合メディア戦略推進課

1 概要

令和6年11月20日に市制施行70周年を迎えることから、これまで先人たちが築き上げてきたまちづくりを振り返り、節目となる70周年を市民・地域・団体・学校・企業などと共に祝うことでシビックプライドの醸成を図る。

また、市制施行70周年を契機とし、本市の魅力を記念式典などを通じて市内外に効果的に発信することで、認知度向上や関係・交流人口の増加、さらには転入促進に寄与する機会とする。

2 年表

対象年	事柄
1954年（昭和29年）11月20日	相模原市誕生
2004年（平成16年）11月20日	市制施行50周年 冠イベント実施・記念・記念式典・動画作成・記念要覧 (事業費：約5,000万円)
2010年（平成22年）	政令指定都市移行 (3月) シティセールスキャッチコピー「潤水都市さがみはら」 (9月) ロゴデザイン 決定
2014年（平成26年）11月20日	市制施行60周年 冠イベント実施・記念式典・動画作成・記念要覧 キャラクター（さがみん）・記念ロゴマーク作成 (事業費：約3,000万)
2024年（令和 6年）11月20日	市制施行70周年
	麻溝台・新磯野地区 まちびらき（予定） リニア新幹線開通（予定） 相模原駅北口周辺地区 まちびらき
2054年（令和36年）11月20日	市制施行100周年

3 実施方針

市制施行70周年記念事業実施にあたり次のとおり実施方針を定めるものとする。

(1) 相模原の70年を振り返り、先人の功績を称え、歴史や経験を次世代に継承する。

「これまでのさがみはらを振り返ろう」〈過去〉

(2) 市民・地域・企業・行政が、皆で70周年を祝う雰囲気醸成することで、市民に愛着と誇りを持っていただき、市外にも積極的に発信していく。

「ワクワクするまちさがみはら」〈現在〉

(3) 未来に向けて、市のさらなる発展のスタートを切る年に！

「チャレンジするまちさがみはら」〈未来〉

4 実施事業

(1) 未来の相模原をイメージしたキャッチコピー及びロゴデザインの制作

- ▶ 100周年に向けた市の未来のカタチが想起できる新たなキャッチコピーとロゴデザインを、現行のもの（潤水都市さがみはら）に替えて制作する。
- ▶ キャッチコピーは桜まつりで、完成したロゴデザインは記念式典で公表し、その後、市内外の多くの人や企業等に認知いただけるよう積極的な情報発信を行う。（原付バイクのご当地ナンバープレートの図柄への活用も検討）

※すぐに新たなキャッチコピーとロゴに変更が難しいものは、更新のタイミングで切り替えを行う

	令和5年度		令和6年度（周年事業実施期間）		
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10月～
キャッチコピー	●市民公募	●商標登録調査 ●選考(選考委員会)・決定	●公表(桜まつり) ●商標登録		
ロゴデザイン		●デザイン業者公募・選定	●契約 ●デザイン制作 ●商標登録調査	●1次選考(選考委員会) ●2次選考(市民投票)	●決定 ●公表(記念式典) ●商標登録 ●啓発品作成 ●周知啓発・メディア露出の取組

4 実施事業

(2) 70周年記念式典の実施

- ▶ 11月20日の市表彰式と同日開催とする。
- ▶ 新ロゴデザインの披露、基調講演、第1回 多分野 多世代参加型会議（相模原未来会議）の開催等のイベントを行う。

令和5年度	令和6年度（周年事業実施期間）		
10～3月	4～6月	7～10月	11月～
●会場の確保、相模原未来会議内容調整（テーマ、メンバー、報酬、会議意見の共有方法等）	●メンバーの選定	●テーマの選定	●記念式典の実施

4 実施事業

(3) 冠事業の実施

- ▶ 市、観光協会、自治会、商店街等が実施するイベントにおいて、「相模原市制施行70周年記念」の冠をつけ、市民の目に触れる機会を増やす。
- ▶ 統一性を図り、効果的な周知を図るため、冠として事業名に乗せる共通デザイン（イメージ：70周年のプラカードを持ったさがみん）を作成する。

令和5年度		令和6年度（周年事業実施期間）
8～9月	10～3月	4～3月
●冠事業把握調査	●冠事業に係る関連団体等との調整・周知 ●70周年共通デザインを作成（庁内作成）	●市民桜まつりを皮切りに記念事業開始 ●冠事業等に70周年共通デザインを利用

4 実施事業

(4) その他

- ▶ ふるさと納税申し込みサイトを市制70周年バージョンに変更
- ▶ 市制70周年の宝くじの図柄作成
- ▶ コールセンター受付時に市制70周年に関する案内を含める

⇒上記の他、既存のシティプロモーションの延長として、市制70周年の時期に合わせて、効果的に事業を実施していく。

令和5年度	令和6年度（周年事業実施期間）
10～3月	4～3月
●ふるさと納税HP更新内容調整 ●コールセンター案内調整	●ふるさと納税HP更新 ●コールセンター案内変更 ●宝くじ図柄調整・宝くじ発売（時期未定）

(1)～(4)の事業について、メディアリレーションやSNSを活用し、効果的な情報発信を行う。

1 市制施行70周年記念事業について

【市長公室】

(1) 主な意見等

(市長) 川崎市は先行して100周年の記念事業を既に開始しているが、本市は出だしが遅れており、相当スピードを上げていかなければならないと感じている。5課連名での提案となっているが、会議体を設置し、議論しているのか。

(SDGs・シビックプライド推進担当部長) 要綱等で設置している会議体はないが、市長公室内の課長級により打合せを実施している。

(市長公室長) 各局に広げて実施していく事業であると考えているため、局長級を集め、意見を出してもらいたいと考えている。

(市長) 市制施行50周年の際は事業費5,000万円とあるが、どのような経費があったのか。

(総合政策・少子化対策担当部長) 要覧等を作成し、記念式典での配付などを行っている。

(市長) 指定都市移行の際はどうかだったのか。

(中央区長) 移行に向けたレポートを作ったり、ラジオ番組をやったり、様々なキャンペーンを行い、2,000万円ほど経費をかけている。

(市長) 実施方針について、もう工夫がほしい。例えば、ワクワクするまちさがみはらという表現は、私も使用している言葉であるが、未来志向のものであると感じる。また、新しいキャッチコピーとロゴデザインの策定について、現在の「潤水都市さがみはら」は、指定都市誕生の際に市民公募で選定したものであり、非常に重いものであると認識している。市民の4割が認識しているものなので、今後どのように取り扱うのか、なぜ変えるのかという説明は必要である。私は変えたいという思いがあるが、市の未来をイメージしたものであるならば、70周年に変更し、100周年まで続くものになるかもしれないので、この場でよく議論をしたい。手法については、キャッチコピーは市民公募を行い、ロゴデザインはデザイン業者を公募するとあるが、やはり市民から公募して欲しい。冠事業についても、桜まつりを皮切りに使用していくとのことであるが、シティプロモーション的にまだまだ弱いと感じる。市内外の方を問わず、70周年ということにどうすれば注目してもらえるかをより深めて欲しい。

(市長公室長) ロゴマークについては、市民公募とするパターンと、業者に委託するパターン、各自治体で別れている。現在想定しているのは、画風の異なる別々のデザイナーに6案を作成してもらい、選出する方法である。市民公募で選考した場合、図柄をそのまま使うパターンと業者に少しデフォルメしてもらう方法があるが、後者の場合、作成いただいたものを修正することになるので、作成者に理解をいただく必要がある。

(市長) 市民公募で決定したキャッチコピーにあわせたロゴデザインを作成するのか。

(SDGs・シビックプライド推進担当部長) そのとおりである。

(市長) 市民公募による選定の時期が迫ってきている状況であるが、こういった媒体で広報を行うのか。

(SDGs・シビックプライド推進担当部長) まずは12月1日の広報さがみはらに掲載したいと考えている。

(市長) スピード感をもって進めて欲しい。

(中央区長) キャッチコピー及びロゴデザインの決め方まで方向性を決めるのか。

(市長公室長) まず、市制施行70周年事業を実施するかしないかという議論があり、あとはキャッチコピーとロゴデザイン、記念式典冠事業等4本の柱で進めること及びスケジュール感について議論いただきたい。個別の事務的な部分についてはこれからであるが、市長から話があったように、出だしが遅れている中で、キャッチコピー・ロゴデ

ザインについては早めに動かなければならず、市民公募か、業者委託かについては議論いただきたい。

○(石井副市長)70周年を祝うことは賛成である。ただ、70周年で何をやるのかというコンセプトが固まっておらず、50周年、60周年の時に実施した事業を焼き直しているようにしか見えない。潤水都市さがみはらについては、政令指定都市移行時に市民公募で作成したが、その位置付けが議論されない中で、変えるのはいかがと思われる。2,000程の公募の中で決めたものであり、変えるならば理屈をしっかりと提示しなければならない。100周年などは、やはり大きなイベントとなるであろうが、その間の周年については、その周年イベントとしてのコピーやデザインを作成している場合が多い。また、議会対応の部分も希薄になっている。50周年、60周年の際には、事前に議会で周年事業をどうするのかというやりとりを行う中で、機運づくりのプロセスがあったが、今回はそれがなく、このスケジュールでいくと各会派から反発が生じる懸念もある。

○(奈良副市長)新しいキャッチコピーとロゴデザインは、未来まで使うものとして提案していると思うが、他自治体の周年事業で使うキャッチコピーとロゴデザインは、その周年のみ使用し、元のキャッチコピーに戻しているところもあるので、慎重に詰めていく必要がある。また、最近では中谷潤人選手が、トランク스에付けている潤水都市さがみはらのマークを大きくしたいという相談にも来られた。4割弱とはいえ、潤水都市さがみはらが定着している中で、周年の度にキャッチコピーとロゴデザインが変わると、いつまで経っても定着しないという考えもある。また、70周年記念事業を進めることは賛成であるが、やるからにはしっかりとシティプロモーションをしていかないと、結局ただやっただけで終わってしまう。今回5課で事業を担当しているとのことであるが、役割分担が縦割りになり、全体を見てマネジメントする責任者が見えないリスクがあると感じる。

(石井副市長)この先には政令指定都市移行20周年もあるので、そこも視野に入れた中で考えていただきたい。

(市長公室長)ロゴデザインについては、一部定着していることや、中谷潤人選手の話もある中で、変更しないという考えもあると思われる。

○(中央区長)都市ブランドの作成と市制施行70周年は、分けて考えた方が良いと思われる。都市ブランド、潤水都市さがみはらに変わるようなものを作成するには、市民のワーキングで1年、2年とかけて市民が話し合い、市民の発想を取り入れつつ、発信はプロの手に委ね、トータル的なストーリーを本市として作っていくなど、方法は様々あると思うが、政令指定都市移行20周年や市制施行80周年に向けての取組を市制施行70周年から始めるのも良いと思われる。一方で、市制施行70周年においても旗が必要となるので、委託等で作成して良いのではないか。

(財政局長)指定都市移行時に、大々的に公募したものを書き換えるような話であれば、やはり今年度の当初予算に入っているべきであり、もしここで何か大々的にアナウンスするのであれば、かなりの補正理由が必要になる。なぜ今補正してまでやるのか、なぜ当初でできなかったのかという議論になる。例えば、流用でやるという方法もなくはないが、それには少し事業としては重すぎる感覚もあるので、財政部門の調整の中でもなかなか難しいという話になっている。

○(市長公室長)最初に市長から指摘があったように、準備期間を逸している部分がある。

○(市長)意見を聞いた中では、潤水都市さがみはらについては、政令指定都市移行20周年での変更が良いか。70周年においては、時間との兼ね合いもあり、70周年としてのロゴデザインを業者委託で作成するのが良いか。

(市長公室長)今回急いでいる理由は、潤水都市さがみはらのロゴデザインの変更に係る部分なので、ロゴデザインをこのままでいくという話であれば、少し準備期間も取れるので、各局区長を含めてさらに議論していきたい。

(総務局長)当初予算で予算立てしておらず、9月の定例会議でも議論がなかった中で進めていくには、定例記者会見発表前に相当な議会への説明の必要があるが、現状それ

ができてない。また、現在の潤水都市さがみはらは、政令指定都市移行に合わせて作成したものであるので、変えるのであれば、政令指定都市移行20周年の時に、市民の意見を聞きながら、慎重に行った方が良いと思われる。

(市長公室長) ロゴデザインの変更がなければ、当初予算で説明という形になる。

○(市長) 70周年の共通デザインは作成するという事で良いか。

(SDGs・シビックプライド推進担当部長) 作成したいと考えている。冠事業等に使用するものなので4月までに作成する必要がある。費用はかけない形で検討する。

(総合政策・少子化対策担当部長) 市長公室内で議論が進んでいた状況があるので、今後、各局長から幅広く意見をいただき進めていく。

(市長) 各区長にも入ってもらい、会議体等を活用して進めていただきたい。

○(教育長) 冠事業の集約は令和5年度中に始まると思うが、どのように進めるのか。

(市長公室長) 庁内に対しては良いが、外向けに事業を公表する場合は、先程と同じ議論になるため、時期、方法について調整していく。

(教育長) 学校でも来年度の計画が始まる時期であるので、調整させていただきたい。

(2) 結果

○原案を一部修正し、承認する。

以上